

大萱教室 支援プログラム

法人理念 目の前の人に喜んでもらうことに、全力を注ぐ

支援方針 就学前から就学後への移行期は、環境の変化からこどもがつまずきやすい時期です。ゆれる気持ちに寄り添い、通い慣れた集団のなかで「ヤッテミタイ・イッショガタノシイ」を感じられるよう支えます。生活環境が変わるご家族にも伴走し、学校に慣れるまでの移行をていねいにサポートします。



利用のご案内

営業日 月曜日～金曜日 / 時間 9:00～17:00

月2回程度、訪問先の園・学校へお伺いします。

1回あたり支援60分＋報告30分程度。訪問支援のため送迎はありません。

こども“まんなか”の支援

5つの領域に沿って本人を支え、集団生活への適応を後押しします



インクルージョン 支援の対象となるこどもを集団生活に合わせるのではなく、こどもの特性に応じて集団の環境や活動を調整し、みんなと共に育つことを支えます。



健康・生活

習慣となることがらに触れ、主体的に何度も経験を繰り返すことで、生活のリズムが整っていくように支援します。



運動・感覚

からだを大きく動かすことから、指先を細かく使うことまで。経験を通して全身を使って楽しめるように支援します。



認知・行動

色・数・文字・物の名前に興味を持ち、それらを使って楽しめるよう支援します。思い起こしながら遊べるように導きます。



言語・コミュニケーション

身ぶり手ぶりや言葉をとおして、他者とやりとりする意欲を育みます。少人数での関わりを重ね、友達との交流を楽しめるように支援します。



人間関係・社会性

大人や友達との楽しいやりとりから、自分とは異なる相手の気持ちに気づき、自分の行動を変えていけるように支援します。



訪問先施設への支援

訪問先の園や学校にお伺いし、こどもの様子をていねいに観察。先生方に、こどもの理解や特性に応じた関わり方・環境の調整を助言し、訪問後にはカンファレンスで共有します。



家族への支援

訪問先でのこどもの様子や先生方の関わりをお伝えし、ご家庭での関わり方を一緒に考えます。進学・進級で変化のご家族の生活にも寄り添い、不安をやわらげます。



移行支援とモニタリング

就学前から就学後への環境の変化にこどもが慣れていけるよう支えます。おおむね**半年～1年ごと**に支援を見直し、学校に慣れるまで伴走します。



関係機関との連携

訪問先・地域と連携して支援します。

保育所・幼稚園・こども園

小学校・特別支援学校等

相談支援事業所

市町村・関係機関



主な行事

年間を通じて実施します。

保護者懇談会

就学前懇談会

あおい湖フェスタ